


活動報告書兼領収書等添付票

項目	調査研究費
整理番号	1

①	年月日・時間	平成30年12月3日						
②	場所							
③	相手方	勝浦川の水をきれいにする会						
④	参加者							
⑤	目的・内容	勝浦川流域の水質保全、美化、住民の環境に対する意識の向上を図るための活動。						
⑥	政務活動以外の活動（議会・後援会・政党活動等）が含まれている場合はその内容及び按分率の根拠							
⑦	経費	費目	領収書金額 (円)	按分率 (/)	充当金額 (円)	支払の内容	支払 証明書	自動車 使用記録簿
		年会費	5,216	10/10	5,216	平成30年度年会費5,000円+振込手数料216円		
		合計	5,216		5,216			

議員本人による確認欄（次の事項に間違いがなければ自筆で☑を記入すること）	会派使用欄
<input checked="" type="checkbox"/> 当該支出は政務活動費の使途基準（条例第2条第1項）に合致した適正な支出である	経理責任者審査 
<input type="checkbox"/> 政務活動以外の活動が含まれている場合、活動実績等に応じた按分がされている	
<input checked="" type="checkbox"/> 充実に適さない会費等（例：酒類が提供される会合への参加費）は含まれていない	
<input type="checkbox"/> 費用弁償が支給される公務日との重複はない	

(裏面)

本欄に領収書等を添付してください。

※裏面は各項目（参考様式1～11）共通です。

※領収書は重ならないように添付してください。

貼りきれない分は、A4用紙（任意様式）に貼り付けてください。

【按分による支出の場合】

按分率	
政務活動費の支出額	円

(注) 事務所費の場合は「事務所状況報告書」と同じ按分率

【経費の一部に充当した支出の場合】

政務活動費の支出額	円
-----------	---

ご利用明細票

徳島銀行

毎度ご利用いただきありがとうございます。
 ご利用明細は下記のとおりでございます。どうぞお確かめください。
 なお、裏面のご案内もあわせてご覧ください。

トモニホールディングス



お取扱日 301203	取扱店 0013	機番 B31	銀行番号	支店番号	口座番号	お取引内容 お振込み					
受付通番 4272	お取扱金額 (枚)					お取引金額					
	万円	五千円	二千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円	
	001			002	001001001	¥5,000					
時刻 09:49	ホスト通番 007919	手数料 ¥216	おつり		お取引後の残高						

ご案内


XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX
 カツラカワノミス マキレイニルカイ 様へ
 オカモトミシ 様から
 電話番号0885-42-4098

振込通番000006

活動報告書兼領収書等添付票

項目	調査研究費
整理番号	2

① 年月日・時間	平成30年7月20日						
② 場所							
③ 相手方							
④ 参加者							
⑤ 目的・内容	各種議員連盟 平成30年度会費						
⑥ 政務活動以外の活動（議会・後援会・政党活動等）が含まれている場合はその内容及び按分率の根拠							
⑦ 経費	費目	領収書金額 (円)	按分率 (/)	充当金額 (円)	支払の内容	支払 証明書	自動車 使用記録簿
	会費	5,000	10/10	5,000	徳島県議会芸術文化振興議員連盟会費		
	会費	1,000	10/10	1,000	徳島県議会南海地震対策議員連盟会費		
	会費	1,000	10/10	1,000	徳島県議会日韓友好促進議員連盟会費		
	会費	3,000	10/10	3,000	徳島県議会林業木材業振興議員連盟会費		
	会費	1,000	10/10	1,000	徳島県議会過疎対策推進議員連盟会費		
	合計	11,000		11,000			

議員本人による確認欄（次の事項に間違いがなければ自筆で☑を記入すること）	会派使用欄
<input checked="" type="checkbox"/> 当該支出は政務活動費の用途基準（条例第2条第1項）に合致した適正な支出である	経理責任者審査 
<input type="checkbox"/> 政務活動以外の活動が含まれている場合、活動実績等に応じた按分がされている	
<input checked="" type="checkbox"/> 充分に適さない会費等（例：酒類が提供される会合への参加費）は含まれていない	
<input type="checkbox"/> 費用弁償が支給される公務日との重複はない	

(裏面)

領 収 証

平成30年7月20日

岡本 富治 様

¥ 5,000-

平成30年度会費として、上記の金額を領収しました。

徳島県議会
芸術文化振興議員連盟 領 収

領 収 証

平成30年7月20日

岡本 富治 様

¥ 1,000-

平成30年度会費として、上記の金額を領収しました。

徳島県議会
南海地震対策議員連盟 領 収

領 収 証

平成30年7月20日

岡本 富治 様

¥ 1,000-

平成30年度会費として、上記の金額を領収しました。

徳島県議会
日韓友好促進議員連盟 領 収

領 収 証

平成30年7月20日

岡本 富治 様

¥ 3,000-

平成30年度会費として、上記の金額を領収しました。

徳島県議会
林業木材業振興議員連盟 領 収

領 収 証

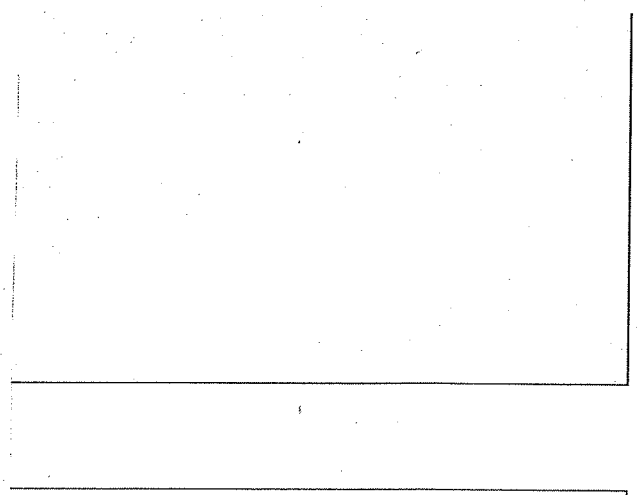
平成30年7月20日

岡本 富治 様

¥ 1,000-

平成30年度会費として、上記の金額を領収しました。

徳島県議会
過疎対策推進議員連盟 領 収



按分率	
政務活動費の支出額	円

(注) 事務所費の場合は「事務所状況報告書」と同じ按分率

【経費の一部に充当した支出の場合】

政務活動費の支出額	円
-----------	---

活動報告書兼領収書等添付票


項目	広聴広報費
整理番号	1

① 年月日	平成30年12月25日
② 内容	<p>発行部数 8,800部</p> <p>配付方法 郵送、事務所での配布</p> <p>内容 県政報告を印刷し、県内において上記の方法により地域住民に配布し、広聴広報活動を行う。</p> <p>※議員が開催する会議（県政報告会等）の場合、開催通知（案内文）及び会議次第を添付すること</p>

③ 政務活動以外の活動（議会・後援会・政党活動等）が含まれている場合はその内容及び按分率の根拠	<p>県政報告について、全体ページ数36ページのうち、政務活動費充当ページ数を32.5ページとし、按分率は32.5/36とする。</p> <p>封筒代金について、県政報告印刷数のみ政務活動費を充当する。</p>
---	---

④ 経費	費目	領収書金額 (円)	按分率 (/)	充当金額 (円)	支払の内容	印刷成果物	発送物写し
	印刷費	798,498	32.5/36	719,920	県政報告書印刷代 @79×8,800部+税=750,816円 PP封筒長3 購入数9,000枚のうち発行部数と同数の8,800枚分を充当 @4.85×8,800枚+税=46,094円 振込手数料540円	✓	
郵送費	580,566	32.5/36	524,122	県政報告書郵送代 @69×8,414通		✓	
合計	1,379,064		1,244,042				

(注) 専ら来賓や後援会長挨拶ばかりで、議員自らによる県政報告や参加者との意見交換等がないものについては、政務活動とはみなされません。
 (注) 印刷費を計上している場合は、当該印刷費に係る成果物を添付すること。
 (注) 郵送費を計上している場合は、支払の内容欄に発送数及び発送内容を記載の上、発送物の写しを提出すること。

<p>議員本人による確認欄（次の事項に間違いがなければ自筆で☑を記入すること）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該支出は政務活動費の用途基準（条例第2条第1項）に合致した適正な支出である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 政務活動以外の活動が含まれている場合、活動実績に応じた按分等がされている</p> <p><input type="checkbox"/> 後援会主催の報告会等ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 参加者等に対してお茶及びお茶うけを超える飲食（公職選挙法の制限を超える飲食）の提供はない</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 印刷費を計上している場合は、成果物（現物）が添付されている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 郵送費を計上している場合は、発送数及び発送内容が記載されており、発送物の写しが提出されている</p>	<p>会派使用欄</p> <p>経理責任者審査</p> 
--	---

(裏面)

本欄に領収書等を添付してください。

※裏面は各項目（参考様式1～11）共通です。

※領収書は重ならないように添付してください。

貼りきれない分は、A4用紙（任意様式）に貼り付けてください。

【按分による支出の場合】

按分率	32.5/36
政務活動費の支出額	1,244,042 円

(注) 事務所費の場合は「事務所状況報告書」と同じ按分率

【経費の一部に充当した支出の場合】

政務活動費の支出額	円
-----------	---

店舗内専用

預金口座振替による振込受付書
 預金払戻請求書

振込金受取書

ご依頼日
 0 / 0 / 27
 年 月 日

お振込先	[Redacted]									
	フリガナ	エリモトイニサツ								
お受取人	フリガナ	[Redacted]								
	お名前	(有) 森本印刷 様								
預金種目		[Redacted]								
金額		十億	百万	千	円	797958				
消費税込手数料		540								

うち 手形・小切手等 [Redacted]

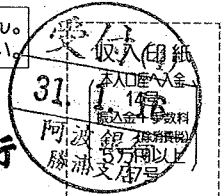
依頼人	フリガナ	オカモトトミシ								
	おてんわ	0885424098								
お名前		岡本富治 様								
おところ		[Redacted]								

- (ご注意)
- 振込依頼書に記載相違等不備のあった場合には、照会等のため振込が遅延することがあります。
 - やむを得ない事由による通信機器・回線の障害等によって振込が遅延することがあっても当行は責任を負いません。
 - 午後2時以後のご用命の場合は、当日中に入金できないこともございますので、あらかじめご了承ください。
 - 振込規定を店頭に備え付けておりますので、必要な方はお申出ください。なお、裏面に抜粋を掲載しております。

本受領書は、担当者認印での発行はいたしておりません。ご不明な点がございましたら、取扱店にご確認ください。

当行をご利用いただきましてありがとうございました。

株式会社 阿波銀行



領収書

毎度ありがとうございます。

お客様名： 岡本 富治 様
 お客様番号： XXXXXXXXXX
 住所： 〒 771-4302
 徳島県勝浦郡 勝浦町大字中角字つい口31-5

料金額	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円
				¥	5	8	0	5	6	6

収納内訳	
現金	580,566円
証紙	-
切手	-
小切手	-

別納引受
(内訳)

<種別>	<特殊取扱>	<量目/サイズ>	<通(個)数>	<単価(円)>	<料金(円)>	<摘要>
ゆうメール特別 県内		50.0g	8,414	69	580,566	
		小計			580,566	

料金計	580,566円	割引計	0円	課税計	580,566円		
				(内消費税等)	43,004円		
				非課税計	0円	お預り 現金	580,566円
				合計	580,566円	おつり	0円

上記のとおり領収しました。

〒 100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 連絡先： 小松島郵便局
 電話番号： 0885-32-0050
 担当： XXXXXXXXXX
 発行番号： 181225d0001
 発行日時： 2018年12月25日 11:49



印紙税申告納
付につき麴町
税務署承認済

領収日
2018.12.25

岡本富治県政報告

討議資料



ゆうメール

未来へつなげよう
道は8の字 四国の未来は∞無限大

雨や風の多かった年も
いつか師走にならば
お世話になり
心めてお礼申し上げます
いよいよ県南は高速道路へ
新時代です。

事前防災・減災を算と確保し
道路・河川・港湾・治山・林道
安全安心の社会で

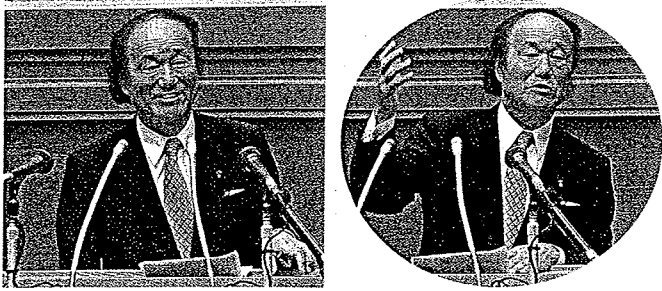
地方創生を実感できる県政
小松島・勝浦・上勝のオリーブ
力強い前進に全力投球です
御指導よろしくお願いします

平成30年師走

岡本富治

岡本富治事務所

事務所 / 〒771-4302 徳島県勝浦郡勝浦町大字中角

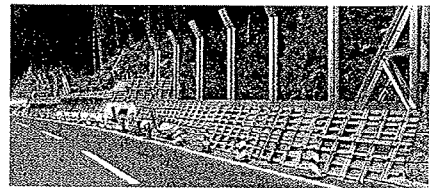


おはようございます。暑い暑い夏の終わり、はげしい雨が降り、強い風が吹く台風が上陸し、北海道で大地震が起こり、日本列島は災害対応に追われています。被災をされた皆さんに心からお見舞いを申し上げます。吹くからに秋の草木のしをるればむべ山風を嵐というらん ではありますが、こんなに多くの皆さんが議場におかけつけ頂きましたので、いい答弁がいただけると思います。お忙しい中、ありがとうございます。また今日は、吉野川市の知恵島小学校の皆さんが議場にいられています。朝早くからお疲れ様です。私は皆さんの地元、櫻本先生や原井先生にいつもいつも大事にされていますよね。さっきの学校紹介で「はーと」、日本語で心・豊かな心づくりを意識して、しっかり勉強して帰りたいと言われていましたが、私もはーと心を込めて心に伝わズ(ひびく)質問をしたいと誓っていますので、少し難しいけどよろしくね。強い雨や風が吹いて通学路のブロック塀が倒れたら怖いよね。そうならないようにどうしたらいいか一緒に考えてみようか。私の質問はいつもは財政で始まるのですが、今回は災害対応からいきたいと思います。知恵島小学校の皆さん、通学路に土や水が流れてきたらどうしたらいいか。良く知っている人、先生や近所の人に普段からよく話を聞いておく事が大切だよ。まずはそこから聞きますから。

日本各地で相次ぐ台風・豪雨災害や地震災害への対応は、都道府県の枠を超えた広域支援が一般的になっているが、本年7月の西日本豪雨では、総務省は、被災市町村のカウンターパートとなる都道府県を割り当てて様々な人的支援を行う新たな仕組みを導入し、本県も、この制度の下、宇和島市に対して災害マネジメント総括支援員の派遣等、様々な支援を行ったと聞いています。このように広域災害支援体制は拡充しつつあります。その支援対象となる市町村は、日頃から限られた人員で防災・減災対策を推進しているので、広域大規模災害という初めての経験の中、混乱も多いと思います。外部からの支援を最大限に活かすには、やはり受け入れ体制も含めた市町村の災害対応力を向上させることが欠かせないと思うのです。南海トラフ巨大地震や激甚化する豪雨災害等を見据え、県として市町村の災害対応力を強化する為どのように支援していくのか。知事に早期にやるといふ答弁を求めます。



県道16号線飯谷町大の上



知恵島小学校の皆さん、川はそこに雨が降ってなくても上流で雨が降ったら川の高さは大きく上がるよね。次はそれいきます。

問2 豪雨災害に即応した道路・河川の機能強化・災害予防対策について

昨年(11月30日代表質問)で補正(1.1億)が少ない、30年度当初予算は大規模災害基金等を生かして事前防災・減災を中心に県民の命と暮らしを守る力強い予算にすべきと申し上げましたが、その通りの予算となりました。

さらに今9月補正103億と地震・豪雨対策等など計上され、よく頑張ったと思います。

私は14ヶ月予算より今回がすごいと思う。「なぜなら、昨年の9月議会では1千万とか3千万で何ができると議論した記憶が蘇るからです。」この議会は機能強化・災害予防対策25億円です。本県も三好市を中心に豪雨被害が発生し、河川に至る所で土砂が流入し、流れが一変。県は、すみやかに現地状況調査を開始し、災害予防対策に重点をおいた9月補正予算案(先ほど申し上げた)の提案など、県民の安全・安心の確保を最優先とした取り組みをされ心強い限りですが、県民の方々からは、近年の異常とも言える豪雨に対する不安の声が高まっています。8月23日、9月4日に本県を直撃した台風、私は上昇する勝浦川の水位を現場で注視しながら、他の河川で生じた豪雨を教訓とした、災害復旧はもちろん事前防災の為、河川整備の長期ビジョンの重要性を痛感しました。そこで、今年7月以降の豪雨を踏まえ、洪水タイムライン等今後の勝浦川をはじめとする河川整備にどのように取り組んでいくのか、力強い答弁を求めます。

◆答弁1 知事答弁

大規模災害発生時には、多様な課題に直面する被災自治体にとって、体制の確立から被災状況の把握、対処方針の策定・実行に至る、組織的な災害対応は、極めて重要であると認識しております。

このため、本県では、東日本大震災はもとより熊本地震や鳥取県中部地震等において、関西広域連合をはじめ、様々な枠組みによる支援を行う中で、災害対応力の強化に努めて参りました。一方、国においては、熊本地震の教訓を踏まえ、災害対応力が低下した被災市町村を応援するため、避難所運営をはじめとする応急業務に加え、急性期における災害マネジメントに係る、カウンターパート方式の支援制度を本年3月に構築致しました。

平成30年7月豪雨では、この制度に基づき、市長を補佐する災害マネジメント総括支援員を本県から宇和島市に派遣し、災害対応の助言を行うとともに、福岡県、奈良県などの支援県と、地元・愛媛県や宇和島市との総合調整を担ったところがあります。こうした経験を通じ、明らかとなったことは、様々な団体からの支援を円滑に受け入れる受援の難しさであり、特に、議員お話のとおり、限られた人員で対応が求められる市町村にとって、受援力の強化は、喫緊の課題であると認識しております。このため、市町村の協力を得て、応援・受援はじめ災害対応力を強化する、県版・災害マネジメント総括支援員・制度を全国に先駆け、本年度、創設いたします。具体的には、全体を俯瞰し、ニーズを把握できる分析力、様々な関係機関と的確に連携できる調整力などを備えたマネジメント人材として、県及び市町村職員を育成・登録するとともに、実践的な訓練や交流を通じて、円滑な受援の礎となる顔の見える関係を築き、応援・受

援体制の一層の強化を図って参ります。こうした取り組みを通じ、市町村との緊密な連携のもと、あらゆる大規模災害に対し、迅速かつ的確に対応できるよう、強く・しなやかな災害対応力の実装にしっかりと取り組んで参ります。

◆ 答弁2 海野副知事

近年、我が国においては、気候変動による異常気象が顕在化しており、昨年九州北部豪雨や、この度、西日本を中心に被害をもたらした平成30年7月豪雨の原因となる線状降水帯は、いつでもどこでも起こり得るものであり、明らかに水害リスクは高まっていると、認識しております。また、本県では、平成16年の台風により3千戸を超える家屋浸水に見舞われた吉野川のみならず、勝浦川をはじめとする県内のあらゆる河川で、増水や氾濫被害が数多く発生しており、住民の皆様方の命を守る河川整備が不可欠であると考えております。こうしたことから、一昨年の12月には、洪水による浸水被害の防止を最優先に取り組むとの基本理念を掲げた徳島県・治水及び利水等流域における水管理条例を制定するとともに、これに通ずる災害の発生を未然に防ぎ、被害を軽減する災害予防の重要性について、重ね重ね、国に対して提言しております。これら理念を具現化するため、例えば勝浦川では、家屋や農地などを守るための堤防の改築や補強、流れを阻害する立木の撤去、住民避難のタイミングを見える化した洪水タイムラインの策定などハード・ソフト両面からの防災・減災対策に取り組んできたところであり、なかでも、洪水タイムラインについては、先行して進めてきた勝浦川を含む3河川の去る8月30日の公表を契機に、作業を一層加速し、平成31年度を目

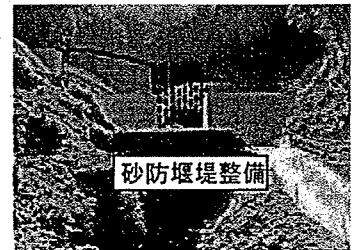
途に、対象とする県下16河川全ての策定完了を目指して参ります。また、県土強靱化・加速化予算と銘打った今年度当初予算での過去最大の維持補修費50億円の計上に加え、今定例会に、平成30年7月豪雨に即応するための補正予算案として、新たに、かつてない規模の10億円を追加し、河川関連では、支川が本川と合流する勝浦川・星谷地区をはじめ、河床が上昇傾向にある県内の様々な箇所を実施する洪水を安全に流しきる土砂撤去の事業費を提案させて頂いたところでもあります。さらには、災害から教訓を得て、新たな川づくりに活かすとの考え方により、災害リスクに立ち向かう新たな知見については、適宜、河川整備計画やとくしま流域水管理計画に盛り込み未来の川づくりに活かして参ります。

今後とも、こうした次代を見据え、持ちうる英知を結集した治水対策に、県を挙げて取り組み、県民誰もが安全・安心を実感できる河川を、しっかりと創り上げて参ります。

災害予防対策の推進



河川の流下能力向上
(勝浦町・勝浦川)



岩・土砂流出など二次災害予防

中小河川における洪水被害の一因となる、「堆積土砂による河床上昇」や「流木による河道埋塞」に対しては、即効性のある「堆積土砂の撤去」や「樹木伐採・除去」の重点的な実施が必要である。

人と人
心と心の
（まのぼろ）はう政治を!!



飯泉知事と浜田市長
野上勝浦町長、
花本上勝町長
勝浦川流域市・町
との連携を密に

政治は
自由
な心
いっしょ
かけけ
たは
はとと



問3 台風21号は風台風だった。みかんの木をはじめ、柑橘産地に倒木等大きな被害をもたらした。今こそ柑橘産地の強化による中山間地域の活性化にどう取り組むのか伺いたい。そこで提案です。県が主体となって旧果樹研究所を核にリニューアルし、「柑橘人材の育成拠点」として、また、「にぎわい交流拠点」として関係市町村・JA・地域の農家等が参画し、柑橘へのやる気を起こさせる場所として有効活用することが大事である。園も生かし、今は電気は切れているがしっかり電気もつけて、県が主体となってニュー果樹研究所を創り出すことが不可欠であります。知事の英断を!!

問4 恐竜化石の発掘や活用についてであります。この度国内最大級となる恐竜の歯の化石が発見され同時にボーンベッドも確認されたことで恐竜王国徳島への夢が膨らんでいます。今後県として積極的に活用・発信し地域の観光資源となるよう願うところです。平成6年4月から恐竜の化石等資源の保全や活用に活動している、NPO法人阿波勝浦井戸端塾は、恐竜の里の花壇の整備や花づくりを行うとともに案内板の設置も行い第16回目となる恐竜の里ウォークラリーを実施するなど、恐竜の町勝浦町を積極的に売り込んできた所であります。今回の一連の発見は、徳島や勝浦の名をさらに全国に向けて発信していく為の絶好の機会であります。今後、このビッグチャンスを活かす為速やかに県が主体となって、地元勝浦町やNPO団体と恐竜発掘活性化協議会を設置する等、県民参加型の発掘の仕組み、魅力発信の在り方や地域活性化等に積極的に取り組んでいくべきと考えるが知事の暖かい答弁を!!

◆ 答弁3 知事答弁

中山間地域における主要品目であるみかんやすだちなど、カンキツ類の生産振興を図るため、市町村やJA等の関係機関と連携し、改植による園地の若返りや新品種の導入、栽培技術の指導による新規就農者の定着など、生産力の強化に取り組むとともに、EUへの輸出やゆずのGI登録など、攻めの果樹経営の施策を、積極的に展開して参りました。これまでの取組みに加え、議員お話のとおり、カンキツ産地を更に元気にするため、旧果樹研究所を核として、カンキツ産地の次代を担う人材の育成・確保や、地域内外の交流促進に取り組んでいくことは、非常に意義あるものと認識しております。また、先般、実施した若手女性農業者との意見交換の場においても、カンキツ産地の担い手育成や新たな活性化対策が必要とのご意見を頂いたところであります。このような貴重な声に即応するため、県では、旧果樹研究所を地元勝浦町をはじめ関係機関とともに、新たな拠点施設として活用を図ることとし、カンキツ産地強化のための人材育成や、地域内外の人々が集うにぎわい交流につながる取組みを進めて参ります。まず、人材育成の観点からは、県が中心となり、関係市町村やJA等を構成員としたカンキツ人材・育成協議会を、10月に立ち上げ、育成プログラムの作成を進めるとともに、実践的な栽培技術を、篤農家から学ぶ仕組みづくり、園地、住居の確保支援など、独立就農に向けたサポート体制を構築します。さらには、栽培はもとより、加工・流通にも通じる優れた農業者を育成するための人材育成塾を、今年度中に開設し、県内外から広く塾生を募り研修を開始いたします。

次に、にぎわい交流の観点からは、例えば、県内

外の大学生のゼミ活動に利用可能な宿泊施設、地域特産物の価値を高める食品加工施設などに活用できるものと考えております。そこで、若手の農業者、商工関係者、大学生、市町村等を構成員としたタスクフォースを来月に設置し、若者の柔軟な発想・アイデアを取り入れた、その地域ならではの魅力ある施設の活用方策について、年内に取りまとめて参ります。今後とも、カンキツ産地を擁する市町村やJA等の関係機関と連携を密にして、中山間地域を、活気に満ち溢れたものとし、生産者の方々はもとより、地域の皆様が、地方創生を実感できるよう、しっかりと取り組んで参ります。



◆ 答弁4 知事答弁

去る8月9日、地元勝浦町との共同記者会見におきまして、恐竜化石を含む地層いわゆるボーン・ベッドと新たな恐竜化石等の発見を公表いたしました。このボーン・ベッドは、今から約1億3千

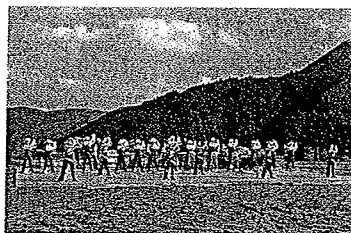
年前の白亜紀前期のもので、恐竜の歯の化石を含む地層としては国内最古級となるものです。既に、この層から竜脚類恐竜としては国内最大級の歯の化石をはじめ中・四国地域で初めてとなる恐竜の骨質化した臑化石や白亜紀のワニの歯の化石など45点の脊椎動物化石を発見しております。今回の発見は、一昨年の恐竜化石の発見を機に、福井県立恐竜博物館や県内の化石愛好家の皆様のご協力を得て、進めてきた地道な取り組みの成果であり、今後の発掘次第では、本県固有の恐竜化石、例えば、勝浦竜や徳島ザウルスのような、夢のある発見に繋がることも期待されます。夢の具現化に向け、今年度においては、発掘調査のさらなる加速化を図ることとし、ボーン・ベッドの集中的な発掘、化石クリーニングやレプリカの作成、関係機関と連携した調査研究など、一体的な推進事業費を9月補正予算案において計上いたしております。一方、このたびの発見を契機とした恐竜を活用した地域活性化の取り組みも極めて重要なテーマであると認識いたしております。そこで、議員もメンバーとして活躍されております阿波勝浦井戸端をはじめとするNPO団体と町と県の3者で、年内を目途に勝浦町・恐竜発掘活性化・協議会(仮称)を設置し、県民参加型の発掘の仕組みや恐竜を核とした魅力発信の在り方をはじめ、地域活性化策について、積極的に協議を進めて参りたいと考えております。徳島の貴重な宝である恐竜化石を、まずは、博物館・新常設展での目玉的な展示や地域活性化の起爆剤となるよう積極的に発信するとともに、将来的には、幅広い世代の方々を魅了する徳島の新しい教育・観光資源として進化させていくことにより、恐竜王国・トクシマの実現に向けて、しっかりと取り組んで参ります。



ライオンズ杯



準優勝 坂野ベアーズ



棚田コンサート



坂本坂道マラソン

昨日よりも
 今日よりも
 明日よりも
 一歩前進



問5 昨年11月の代表質問で国際線就航見通しについて質問したら、何とか間にあってチャーター便就航の答弁がありました。私はちゃんとした定期便になるように頑張らましようと言った。言った通り、定期便就航、まずは良くやってくれました。お疲れ様。これからは県民というか近くの県の方も乗って頂く為に、個人旅行者向けの支援制度の創設や、香港経由の安さと利便性を強調して、通年運航の為に内外の多くの人の知恵と細やかな気配りへの工夫等細心にして大胆な取り組みが大事だと思うが、知事の意気込みを問う。

問6 昨年11月議会で漢字二文字、「終演と廃止」の答弁を引き出した時、新たな条例による基金を創るべきと申し上げた。新たな基金は東京オリパラ何とか基金になるかも知れませんがと、それは次の議会までに知事が考えることと言ったら、東京オリパラとくしま未来創造基金になった。5億円を積んで、今9月定例会後は2.4億円の残高となります。来年度(31年)に向けてどうするのか。東京オリパラとなっているので、あと2年そこまではと思うが、知事に勇気ある決断を求める。国が何と言おうと地方の努力の結晶である「虎の子の基金」を死守したことは私も素直に評価いたします。

本県では「基金ごとの用途一覧表」を作成し、広く公表したが実に素晴らしいと思う。ただあまり財政課は説明をしたがらないが…基金設置の趣旨の明確化や残高状況等々、より一層の情報開示・透明化をさらに推進すべきである。知事の誠意ある答弁を求めます。

◆ 答弁5 知事答弁

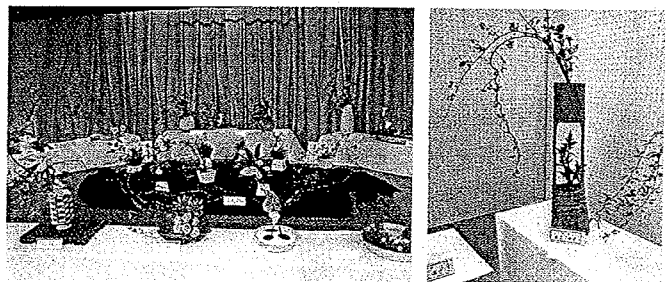
県政史上初となるこの度の季節定期便は、今年の冬と夏の連続チャーター便の実績が評価されたものと認識しており、通年運航の定期便の実現に向けては、インバウンド・アウトバウンド両面にわたり結果を出すことが重要であると認識しております。そこで、インバウンドでは、定期便ならではの強みである個人旅行者の獲得に向け、来月以降、継続的な徳島プロモーションを展開し、特に、11月には、香港の秋の風物詩である日本秋祭りin香港での阿波踊り披露や、新たに香港の飲食店と連携し、徳島の食材を使った料理の提供など、香港人の視覚や味覚など五感へダイレクトに、徳島の魅力を発信して参ります。また、個人旅行者向け支援制度として県内での宿泊者を対象とした助成や、レンタカー、路線バスなど二次交通利用への支援制度を創設し、従来の団体旅行支援と合わせ、PRしていくことで、さらなる誘客の獲得に取り組んで参ります。一方、アウトバウンドは、定期便の安定利用を維持していくための切り札となるものであることから、県民の皆様には、季節定期便の就航により近くなった香港、行きやすくなった海外を実感していただくため、県内旅行代理店やメディアの皆様と連携したメディア・ファム・ツアーや、モニターツアーを実施し、県民の皆様からのご意見も頂戴しながら、さらなる旅行機運を喚起し、アウトバウンド利用を促進して参ります。とりわけ、キャセイ・パシフィック・グループが誇る、世界52か国、約200都市をカバーするグローバル・ネットワークと、香港国際空港を拠点とし、乗継利用の充実が図られることで、ヨーロッパやオセアニア方面など、世界各地への観光やビジネスにおける時間的・経済的メリット

を、県内企業の皆様はもとより、近接県の皆様にも、しっかりとPRし、安定的な需要を創出して参ります。さらに、一步先を見据え、世界のハブ空港である香港国際空港の後背地であり、高速アクセスの整備が進む、中国の広州、深圳やマカオなど、約7千万人の人口規模を擁する珠江デルタ地域におけるセールスも展開して参ります。キャセイ初となる地方都市就航に向けた試金石として、いよいよスタート地点に立った徳島-香港間の季節定期便を着実に成功へと導き、今後、通年運航の定期便へと飛躍させていけるよう、徳島から香港、さらには世界に向けて、イン・アウト両面におけるプロモーションにしっかりと取り組んで参ります。

◆答弁6 知事答弁

当基金につきましては、東京2020オリンピック・パラリンピックをはじめ、国際スポーツ大会の開催を契機として、本県の文化・スポーツ振興を重点的かつ継続的に実施するとともに、県民の皆様には、施策に対する期待感を持っていただくため、本年2月議会においてご承認いただき、創設したところであります。今年度におきましては、阿波踊りの海外派遣をはじめ、あわ文化にさらに磨きをかけ、未来へと継承する事業、国際スポーツ大会に向けたキャンプ地誘致やワンランク上の環境整備、オリンピック・パラリンピック等への日本代表選手の輩出や国民体育大会の順位向上に関する事業等に重点的に充当し、積極的な施策展開を図っております。今後とも、県民主役の文化・スポーツ振興を加速化するため、当基金をしっかりと確保し、徳島ならではの文化・スポーツレガシーの創出に全力を傾注して参ります。

地方は国と異なり、原則として、赤字地方債を発行することが出来ず、大規模な災害や、景気の変動による税収の急減など、不測の事態により財源不足が生じた場合には、基金の取崩しによって対応する必要があることから、地方にとって、一定水準の基金の確保は、まさに生命線であります。昨年来、国では、地方の基金残高が多いのではとの議論が生じておりましたが、残高の増加をもって、余裕があるかのような議論は、容認できないと、全国知事会と共に、強く訴えた結果、平成30年度の地方財政対策においては、基金残高の増加を理由とした地方交付税の削減は、回避されたところであります。一方で、基金に対する国民の理解を広げるため、国からの地方に対し、基金に係る公表情報の充実が要請されたことから、本県においては、平成30年度当初予算案の発表に際し、基金充当事業・一覧表を新規作成し、いち早く、用途の公表を実践しております。また、基金の透明性確保や見える化に向けた、全国の潮流を先取りし、新たに、基金の背景や目的といった設置の趣旨や、基金の規模の推移を示す残高の状況についても、今年度中を目途に公表して参ります。今後とも、県民の皆様をはじめ、誰からも開かれた財政と評価される、分かりやすく、丁寧な財政運営に創意工夫を凝らしながら、しっかりと取り組んで参ります。



小松島市文化祭



議員団団長として知事と高速道路の要望

「立江・榑淵・阿南間」の先行供用

【立江・榑淵IC】

- ◆県：地域活性化ICの早期実現に向け詳細設計中！
- ◆小松島市：IC近傍に「地域振興拠点施設」を具現化！

【阿南IC】

- ◆県：県道の渋滞対策として追加ランプを整備！
- ◆阿南市：ランプに接続する市道を整備！

立江・榑淵IC (地域活性化IC) (E) 65号

(主) 阿南小松島線 (IC近傍型の拠点施設を整備)

新那賀川橋 (H26完成)

(主) 阿南勝浦線 阿南IC

市道

「立江・榑淵・阿南間」の供用により 阿南IC周辺の渋滞解消

LEDメーカ

- 本線
- 阿南ICランプ
- 追加ランプ



公明党徳島県本部 政策要望懇談会

- 県版災害マネジメント総括支援員制度を全国に先駆けて本年度創設いたします。
 - 生名谷川と勝浦川が合流する「星谷地区」をはじめ洪水を安全に流しきる土砂撤去をやります。
 - 柑橘人材育成協議会を10月に立ち上げ、旧果研を新たな拠点施設として県主体で活用、魅力ある施設の活用方策を年内(今年中)に取りまとめる。
 - 恐竜はNPO団体や町と県の3者で年内を目途に恐竜発掘活性化協議会を設置する。
 - 国際使は個人向けの旅行者支援制度として県内での宿泊者を対象とした助成も行う。
 - オリバラ基金はしっかりと確保すると、基金は設置の趣旨や残高状況を今年度中に公表する。
- 明言を頂いた。

大規模風水害対策

H30年度

全地形対応車の配備

大規模風水害即応機動部隊(仮称)創設



山腹崩壊



立木崩壊

平成30年7月豪雨では 全国最多の14名登録

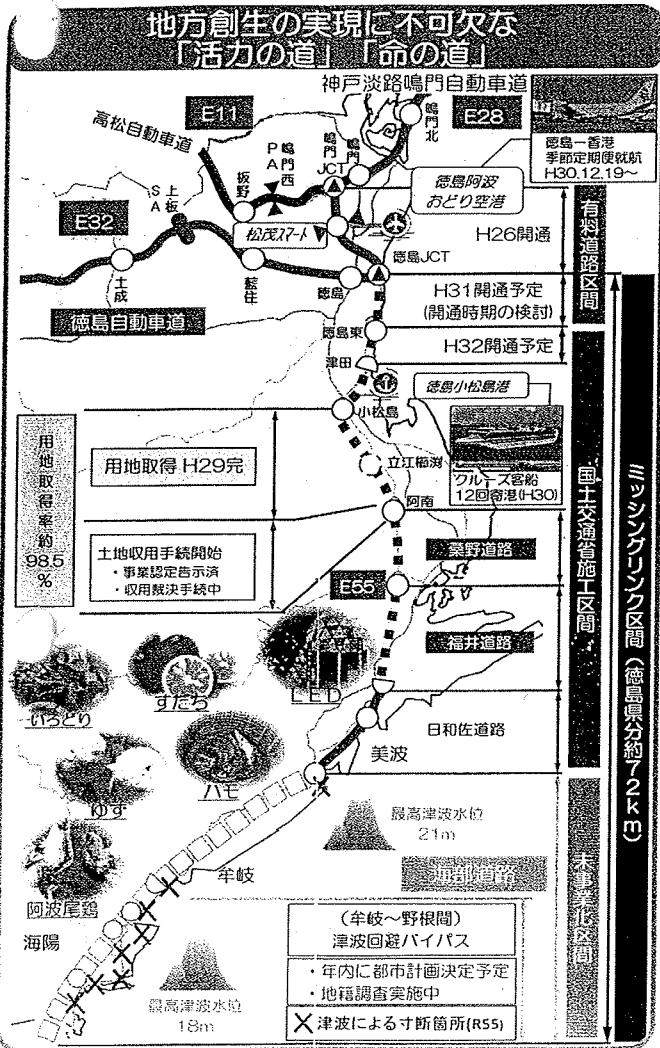
災害マネジメント総括支援員 宇和島市 徳島県

対口支援(避難所運営等)

県版災害マネジメント総括支援員 制度創設

県内の応援・受援体制を強化

高速道路ネットワークの早期整備について



問7 四国横断自動車道へのアクセス道路となる

「県道阿南勝浦線・沼江バイパス」及び周辺対策となる「政所谷川」の現状と今後の取組みについて伺いたい。

高速道路へのアクセス道路としての阿南勝浦線沼江バイパスの本格着工について。昨年11月議会、海野副知事から「阿南小松島線及び阿南勝浦線は、立江・櫛淵インターチェンジの整備効果を小松島、勝浦町、上勝町はもとより那賀町へも広げる幹線道路であると認識いたしております。特に両路線が交差する櫛淵地区の道路におきましては、同地区に繋がる阿南勝浦線沼江バイパスの完成に全力を傾けるとともに、整備方針を速やかに策定いたします。」と答弁を頂いた。知事の英断で沼江地区はバイパス整備となった。機は熟しました。いよいよ本格着工です。できるだけ早い時期に着工すると明確に答弁頂きたい。四国横断自動車道の周辺対策として恩山寺谷川と政所谷川の整備を求めてきました(住宅密集・小学校もあるので)が、恩山寺谷川は急ピッチで工事を進めて頂き、浸水被害の軽減が図られました。できてなかったら、今年大惨事だったかも。次は政所谷川と昨年11月議会に申し上げた。海野副知事から切れ目なく測量や設計に着手と答弁を頂き、今年度は多額の予算を投入頂いておりますが、早期に現地着手です。徳島上那賀線は狭い所あと1ヶ所になりました。小松島市と徳島市の境目のところ井口付近、新浜勝浦線星谷工区、神田瀬川、芝生川、小松島には多くの川がある。流れを阻害する立木の撤去をはじめ流下能力を高めて来年度から工事に本格着工すべき。しっかりと取り組んで欲しい。早ければ次の補正予算からでもいいですよ。

問8 三好長慶を大河ドラマに6月12日、徳島県観光協会など経済・観光の約30の団体が推進協を立ち上げと地元紙に載り、その後も署名活動が8月1日には日本経済新聞に取り上げられた。その日経新聞に今年2月17日、リーダーの本棚では飯泉知事の、愛読書「天下を制す三好長慶VS織田信長」と書かれておりました。さらに知事は「三国志を上回る愛読書は[少年ジャンプ]。』とも。知事公舎で読んでいるらしいが、信長より前の天下人が徳島の三好市出身の三好長慶。織田信長に先駆ける1549年から20年。三好長慶は戦国天下人であったとされる。ここに目を向けなければ幕末の高知に勝てない。千利休の正室は三好家からとか。先日9月10日発行の「歴史研究」という本にはある。県人会近畿連合会の木岡会長によれば関西でも推進協議会設立準備を進めているとの事。ふるさとの歴史を今一度深掘りしてみると新たな観光・文化振興・地域経済の活性化になるかも。県の支援が今問われています。知事に笑顔で答弁を頂きたい。



◆ 答弁7 海野副知事

県道・阿南勝浦線につきましては、地域の生活や経済・産業活動を支える幹線道路として、また、観光スポットである四国霊場第20番札所鶴林寺をはじめ日本の棚田百選に認定の榎原の棚田などへのアクセス道路として、大変重要な路線であります。さらには、大規模災害発生時における緊急輸送道路や、南海トラフ巨大地震に対する徳島県道路啓開計画の進出ルートとしての役割を担う、命の道ともなる路線であります。議員お尋ねの沼江工区の残る未改良区間、500メートルにつきましては、道幅が狭く、大型車のすれ違いが困難なことから、人家連たん地域を避けることで、地域の皆様の安全・安心が確保でき、スムーズな道路線形にもつながるバイパスルートとして、平成27年度から事業に着手いたしております。地元のご協力をいただき、本年5月末に、全ての用地取得が完了したことから、年内には、阿南側150メートルの区間から着工し一日も早い全線開通に向け、取り組んで参ります。

次に河川についてのご質問でございますが、小松島市南部を流れる政所谷川の流域では、幾度となく、家屋や農地等への浸水が発生するとともに、同地域では、整備が進む四国横断自動車道により、従前の生活環境が大きく変わろうとしていることから、河川改修が一層重要となっております。そこで政所谷川の改修については、今年度から恩山寺谷川との合流点より約1.1キロメートル区間に新規着手し、現地測量と河道断面の設計を開始いたしました。このうち、最下流にあって、大きく蛇行する箇所に対しては、洪水をスムーズに流すためのショートカットを計画するとともに、対策効果の早期発現に向け、この区間を含む約250メ

ートルを先行する工区として位置づけ、年内には、小松島市とともに、関係する方々へ、将来の河川断面を示す地元説明会を開催し、用地買収の準備に取りかかり、速やかに現地着手を目指して参ります。今後とも、誰もが、四国横断自動車道の整備効果を地域全体で最大限に享受できるよう、地元市町と連携を図りながら、住民の皆様方の利便性の向上と安全・安心の確保につながる社会基盤の整備に、全力を傾注して参ります。

知事答弁

国内外で、観光ニーズの多様化や個性化が図られる中、映画やテレビドラマなどの映像作品の舞台となったロケ地や原作の舞台を訪れるロケツーリズムの需要が高まっており、そのロケ地等になった地域においては、認知度やイメージ向上に資するとともに、観光客増加が期待されるところであります。本県では、平成14年度から、徳島県ロケーション・サービス事業を開始し、映画バルトの楽園や眉山などの大規模なロケを支援するとともに、JFC全国ロケ地フェアに参加し、映像制作関係者に対し、本県の魅力をPRするなど、ロケ地誘致に取り組んで参りました。大河ドラマは、影響力が大きいことから、全国各地の自治体で誘致活動が繰り広げられており、主人公には、全国的な知名度はもとより、現代に生きる我々が共感できるテーマ性やメッセージ性がある生涯を送った人物が選定されております。三好長慶は、戦国時代最初の天下人といわれる実績はもとより、他国の文化や思想を広く奨励する寛容性を持った大河ドラマに相応しい、本県を代表する人物であり、藍住町の勝端城館跡や、三好市の瀧寺、三好長慶武者行列まつりなど、県内にはゆかりの観光素材

も多く、大河ドラマ化は、観光誘客を図る上で、有意義であると認識しております。また、私自身も、一昨年、三好長慶と関連が深い大阪府の大東市長、高槻市長と徳島県庁において対談し、三好長慶を活用した地域活性化策や大河ドラマ化へ向けた意見交換を行い、連携していくことを確認し、その模様は、大阪春秋・新年号に掲載され、広く大阪府下へ広報されたところであります。大河ドラマ化を実現するためには、官民挙げての取り組みが重要であることから、本年6月に、経済団体はじめ民間の方々を中心に、NHK大河ドラマ誘致推進協議会が設立された機会を捉え、本県としても、まずは、三好長慶の認知度向上に積極的に努めて参ります。その取り組みとして、県主催の秋の阿波おどりにおいて、今年度は、徳島県観光協会と連携し、広報ブースの設置やシンポジウムや武者行列のイベントを開催するとともに、徳島県観光情報サイト阿波ナビを活用し、三好長慶の魅力を県内外へ発信して参ります。今後とも、和をもって治世を夢見た三好長慶が現代社会に求められる人物であるとの、社会的評価が得られるよう、しっかりと取り組むとともに、関係自治体や民間団体等と連携して、大河ドラマ化の機運醸成をしっかりと図って参ります。

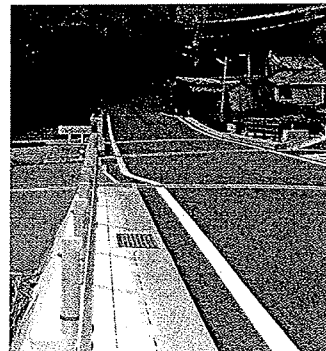


大河ドラマ誘致推進協議会会長として

問9 新たな観光ルートの創出について

今年の阿波おどり期間中の観光入込客は昨年比べて約10%減(眉山ロープウェイ20%・うずの道12%・祖谷のかずら橋15%)であったが、阿波おどりだけが原因ではないのでは。リニューアルしたエディは20%増えている。つまり新しいもの、新たな観光ルートを創出することが不可欠である。そこで提案なのですが、小松島赤石港クルーズ客船→すぐ近くの源義経の上陸地。今から300年ほど前、1185年2月18日九郎半官義経は、屋島の平家を討つために摂津(今の大阪)から船出したが、折からの暴風雨に流された。着いたところが阿波の勝浦(小松島市)だった。勝浦だったから勝ったとも。義経がそこで源氏の旗を揚げたとされる「旗山」。そこの騎馬像は日本一の高さ(約10m)を誇る。田野の政所谷(先程質問したところ)から軍勢が動いた。屋島侵攻に加勢した近藤六親家の居住跡が新居見城址である。高速の新居見トンネルが1408m出来るところ。毎年2月に義経夢想祭が芝田婦人会主催で30年以上行われている。→ビッグひなまつり・桜まつり(昨年、台湾から2300人が訪れたが、武者人形が大人気だった)→先程答弁いただいた恐竜の里→上勝の彩山・いろどり橋(長さ62M幅員1.5M高さ15M 渦の道と同じガラス張りがあり、木と木の間が約10cm開いている)7月24日渡り初め。知事が橋の上で阿波踊りで盛り上げた。私は揺れたので怖かったが。→月ヶ谷温泉→もみじ川温泉→川口ダムミュージアム、いい道がつながっている。中山間地域の魅力いっぱいの新たな観光ルートの創出について問う。

問10 先程申し上げたようにこの議会の機能強化
災害予防対策は25億円ですが、うち、19億円は命を守る大規模災害基金から5億3500万円を充当。6億円は県単独であります。9月補正予算をモデルに迅速な災害予防対策と基金の有効活用を組み合わせた機動性に優れたタイムリーな県単補正予算の編成を推進すべきと思うが。今後11月議会、そして31年度当初予算にむけて、防災減災対策、県土強靱化対策をいかに盛り込むのか。来春は知事・県議をはじめ統一選挙の年だから骨格予算となるが、今は4年前、8年前とは置かれた状況が違う。4年前のH27年は4408億で、6月に400億補正。8年前(H23年)4238億、6月に320億補正している。今までのような編成方針ではいけない。県民の安全安心を第一とすべきであります。ただ、私の予想では次の11月議会は昨年の1.1億ではなく大きな予算になりそうであります。事業の繰越し等執行率により変わる事になるが、さらに一步先取りをして11月議会に先に盛り込んでから骨格をどうするかとか。それはまさに予算編成のテクニックが問われることとなります。だから今あえて申し上げます。繰越し執行率によるが、私は11月議会先取り予算がいいと思う。知事の見解を問う。



小松島恩山寺谷川完成

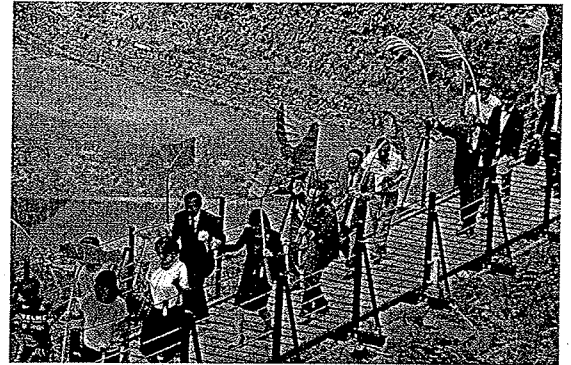


小松島市文化祭にて

◆ 答弁9 知事答弁

近年、インバウンド需要が拡大する中、観光は、交流人口を拡大させ、地域を活性化させる原動力として期待されており、特に、人口減少が進む中山間地域においては、観光誘客への取組が求められております。中山間地域は、豊かな自然や独自の歴史文化など、都市部にはない、多彩なコンテンツが存在しており、日本らしさを求める外国人観光客をはじめ、大都市圏からの観光客にとって、非常に魅力的な地域であり、新たな観光ルートとして売り出すことは、極めて重要であります。県では、これまで、旅行会社やメディアを対象としたファムツアーや、観光客を対象としたマーケティング調査により得られたニーズに基づき、観光素材集やパンフレット、ウェブサイトなどを通して、最新情報の発信に努めて参りました。こうした中、県政史上最大の豪華客船マジェスティック・プリンセスが寄港し、大型観光バス57台に分乗し、ご覧頂いた勝浦町のさくら祭りや、私自身も体験しましたがスリルと絶景が楽しめる上勝町のいろどり橋をはじめ、県内の中山間地域では、魅力的な観光コンテンツが生まれてきております。現在、新しく設立されたDMO等を中心に、これらの観光コンテンツを組み合わせた着地型旅行商品の造成が図られるとともに、地域における受入環境の整備にも、積極的に取り組まれております。そこで、県といたしましては、こうした取組みを後押しし、広域的な連携をより強化させるため、県観光協会やDMOなどで構成する観光周遊促進研究会(仮称)を速やかに立ち上げたいと考えており、議員のお話にありました、小松島市の旗山の源義経騎馬像などについても、広域的な視点から、観光コンテンツをつなぎ、点から線、線から面へと

展開し、県内全域での周遊促進を図って参ります。今後とも、DMOをはじめ観光関係団体と連携を図りながら、これまで以上に知恵と工夫を凝らし、徳島ならではの中山間地域の観光モデルの確立に、しっかりと取り組み、観光徳島のブランド化をより一層、推進して参ります。



いろどり橋開通



渡り初め

◆ 答弁10 知事答弁

まず、今後の補正予算につきまして、政府においては、平成30年7月豪雨(西日本豪雨)や北海道胆振東部地震など、相次ぐ災害に対応するため、今年度の補正予算案を秋の臨時国会冒頭に提出する方針を固めているものと、承知しております。本県におきましては、西日本豪雨に即応するため、基金の活用による、機動性に配慮した県単事業として、県単維持補修費で10億円、農地、林地保全に係る県単公共で6億円と、それぞれ過去最大

となる県単の補正予算を編成し、今定例会に提案いたしたところ。これに止まらず、タイムリーな二の矢として、国費の活用により、安全・安心対策をさらに加速させるため、国の補正予算の内容や規模について、アンテナを一段と高くし、迅速な情報収集に努め、次期定例会での補正予算案計上を目指して参ります。

次に、来年度の当初予算につきましては、来年4月に統一地方選挙を控えていることから、全国の例、また、本県での対応例を踏まえ、義務的な経費を中心に計上する骨格的な予算編成を行って参りたいと考えております。一方で、昨今の度重なる自然災害を勘案致しますと、災害予防対策費や維持補修費など、県土強靱化に直結する経費につきましては、県民の生命・財産を守る上で、まず計上すべき、不可欠な予算であるとともに、その重要性は、年々、各段に増していると認識しております。そこで、来年度の骨格予算におきましては、県土強靱化や事前復興に関する事業について、質及び量の両面から、より一層、積極的な計上を進めて参ります。このように、議員ご提案の趣旨を踏まえ、県民の安全・安心な暮らしを何としても実現し、高めていくとの信念のもと、県政史上初となる、今後の補正予算と来年度骨格予算とを一体的に捉える切れ目ない予算編成に創意工夫を凝らして参ります。今後とも、防災・減災対策や地方創生のさらなる加速など、県民目線と現場主義に立った予算の編成と執行に、しっかりと取り組んで参りますので、議員各位には、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

位置図



立江・榑淵I・Cへの
アクセス・渋滞緩和
阿南・小松島線との
スムーズな連結

地域には宝がある。その地域の思い、関係市町村と連絡を取り合って県が支援するそれが地方創生です。

- 沼江バイパスは年内(12月中)に阿南側から着工する。政所谷川は「年内」に「地元説明会」を開催し速やかに着手すると明言を頂いた。
- 三好長慶を大河ドラマには、県として認知度向上に積極的に努め、県主催の「秋の阿波踊り」においてその運動を県内外へ発信する。
新たな観光ルート(さくら祭り、いろどり橋、旗山の義経騎馬像等)として売り出すことは、極めて重要である。恐竜の里へは立川相生線がこの14日開通式。是非舗装をして欲しい。
- 予算編成は県政史上初となる「今後の補正予算と来年度骨格予算を一体的にとらえる」と、格調の高い答弁をいただきました。

防災で始めて、防災で締めくくりたい。防災対策と消費者庁移転との関連から、来年度県庁組織の見直しや危機管理部の充実強化というよりも、大胆に見直すべき。現状のままではいざという時に機能しないのではないか。まず消費者庁移転、最終年度に向けて、消費者暮らし安全局をもっと大きく力強くすべきです。安倍総理が来県した9月1日、知事と私が出迎え、お見送りすることになったのですが、知事、お疲れ様でした。確か、お帰りになる前の空港で、知事が消費者庁を消費者省にと言ったら、総理が「いいね」とすごくノリが良かった。そんな会話が確かにありました。

証人は私しかいないけど。その時知事はすごいと思った。知事は政治家だと… それを決められる立場の人(総理)に直接言ったのだから。知事、ならば県庁組織の見直しが先でしょう。もっと力強く大きく内外に向けてインパクトのある名称と権限を与えるべきです。私はそのことを県で決められる立場の人(知事)にあえて申し上げたい。安倍総理の飛行機が飛び立ったので、もう帰りますかと言ったら知事が、徳島県の上空を飛んでいるうちはここに居なければいけないことになっていると言った。知事は、役人だと思った… また、防災関連があまりに中途半端ですね。以前よりは良くなっているけど、まだまだですね。かなり無理があります。部長は別にして、副部長と次長は県土整備の専門ですが、農林の専門はその立場の人はいない。最近の災害、山が崩壊することが多い。どちらかという、県土より農林「山地治山」ではないですか。山肌は緑より土が多く見える。私はあえてその事を申し上げたい。知事、コメントはいらないので、来年度から実行して下さい。私は知事にこの議場で様々なことを申し上げてきたが、平成16年3月3日の第十堰の質問のことが脳裏を走ります。

教科書では学ばなかった祖母の知恵。ふるさと徳島を熟知した知事が、今改めておばあさんの知恵、ふるさとの知恵を原点から見つめることこそ大事です。まずはの次には、次があり確かな道筋がいる。もうその時が迫っています。

私の思いはあえて何も言わないで11月議会のわが同志である榎本先生の代表質問に託して質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。

意見書の提案について

徳島県議会 林業木材業振興議員連盟幹事長の岡本富治から意見書の提案をしたい。

近年、地球温暖化の影響等に伴う局地的な集中豪雨や猛烈な台風が増加しており、本年も西日本7月豪雨や台風21号などにより、山腹崩壊、風倒木等の被害が発生し、本県でも、林道等生活道の被災による集落の孤立化や大規模な山腹崩壊が発生したところであります。このため、復旧対策はもとより、事前防災・減災、災害に強い森林づくり等による「緑の国土強靱化」及び「森林吸収源対策」の推進が不可欠であります。

国民の安全・安心な暮らしと地域経済を支える森林・林業・木材業を成長させ、強くしなやかで、そして美しい山々を次世代に継承していくためにも、森林整備等林野関係事業に全力で取り組んでいく必要があることから、

本県議会として、国に対し、

○森林整備事業及び治山事業の協力的な推進に向けた予算の拡充

○甚大な災害の発生を踏まえた「緑の国土強靱化」への対応

森林吸収源対策の着実な推進

○林業成長産業化の実現に向けた路網整備の強力な推進を求めるものであります。

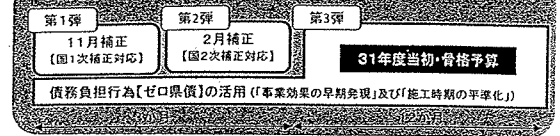
本件については、速やかな対応が求められることから、開会日において、全会一致で可決頂けるようよろしくお願いいたします。

11月30日開会日に全会一致で可決

平成30年度11月補正予算(案)の概要

国の補正予算に呼応した「被災施設の復旧」をはじめ、県民の命と暮らしを守る「15か月型・県土強靱化予算」の「第1弾」

15か月型・県土強靱化予算(11月議会+2月議会) イメージ図

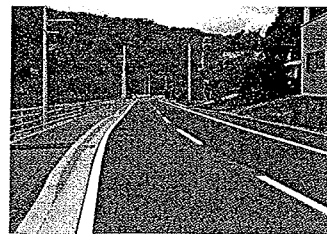


予算額3.5億円(うち債務負担行為16億円)

安全・安心対策の推進	約2.1億円	(単位:千円)
■相次ぐ災害に即応した公共施設の復旧		
・治山事業	963,500	
・林野地すべり防止事業	179,400	
・漁港施設災害復旧事業(債務負担行為)	600,000	
■あらゆる自然災害を迎え撃つための県土強靱化の推進		
・「ゼロ県債」を活用した県土強靱化の推進(債務負担行為)	1,000,000	
・うち緊急地方道路整備事業	475,000	
・うち床上浸水対策特別緊急事業	250,000	
・うち地すべり対策事業	85,000	
■地域医療・介護の充実	107,000	
・地域医療介護総合確保基金補助金		
経済・雇用対策の推進	約0.2億円	(単位:千円)
■徳島の強みを活かした成長産業の強化	624,000	
・地方大学・地域産業創生事業		
大胆柔軟とくまの実現	約0.2億円	(単位:千円)
■文化財の適正な保存管理による魅力発信	13,700	
・◎県指定有形文化財「奥村家住宅」保存修理事業		
■行政手法の進化	6,700	
・◎データに基づく政策立案(E B P M)推進事業		

(注)記載事業は主なものであるため、合計額は一致しない。

小さなことから道路の安全を
白線の鮮明化



飯谷・長柱




立江・櫛淵

活動報告書兼領収書等添付票

項目	広聴広報費
整理番号	2

① 年月日	平成31年1月25日						
② 内容	発行部数 1,000部 配付方法 事務所での配布 内容 県政報告を印刷し、県内において上記の方法により地域住民に配布し、広聴広報活動を行う。 ※議員が開催する会議（県政報告会等）の場合、開催通知（案内文）及び会議次第を添付すること						
③ 政務活動以外の活動（議会・後援会・政党活動等）が含まれている場合はその内容及び按分率の根拠	県政報告について、全体のうち政務活動費充当ページ数を2/3ページとし、按分率は2/3とする。						
④ 経費	費目	領収書金額 (円)	按分率 (/)	充当金額 (円)	支払の内容	印刷成果物	発送物写し
	印刷費	48,600	2/3	32,400	県政報告書印刷代 @45×1,000部+税=48,600円	✓	
	合計	48,600		32,400			

(注) 専ら来賓や後援会長挨拶ばかりで、議員自らによる県政報告や参加者との意見交換等がないものについては、政務活動とはみなされません。
 (注) 印刷費を計上している場合は、当該印刷費に係る成果物を添付すること。
 (注) 郵送費を計上している場合は、支払の内容欄に発送数及び発送内容を記載の上、発送物の写しを提出すること。

議員本人による確認欄（次の事項に間違いがなければ自筆で☑を記入すること）	会派使用欄
<input checked="" type="checkbox"/> 当該支出は政務活動費の使途基準（条例第2条第1項）に合致した適正な支出である	経理責任者審査 
<input checked="" type="checkbox"/> 政務活動以外の活動が含まれている場合、活動実績に応じた按分等がされている	
<input type="checkbox"/> 後援会主催の報告会等ではない	
<input type="checkbox"/> 参加者等に対してお茶及びお茶うけを超える飲食（公職選挙法の制限を超える飲食）の提供はない	
<input checked="" type="checkbox"/> 印刷費を計上している場合は、成果物（現物）が添付されている	
<input type="checkbox"/> 郵送費を計上している場合は、発送数及び発送内容が記載されており、発送物の写しが提出されている	

(裏面)

本欄に領収書等を添付してください。

※裏面は各項目（参考様式1～11）共通です。

※領収書は重ならないように添付してください。

貼りきれない分は、A4用紙（任意様式）に貼り付けてください。

【按分による支出の場合】

按分率	2/3
政務活動費の支出額	32,400

(注) 事務所費の場合は「事務所状況報告書」と同じ按分率

【経費の一部に充当した支出の場合】

政務活動費の支出額	円
-----------	---

領 収 証

岡本富治

様

31年 1月 25日

金額 448,600

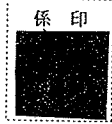
但し 県政報告印刷
上記の金額正に領収いたしました

現金	
小切手	
手形	

有限会社 森



徳島県阿南市福町大浦25-1
TEL (0884) 27-0118(社)





小松島・勝浦少年野球新人大会1月14日(月)
優勝 坂野ペアーズ 準優勝 児安ドラゴンズ
おめでとうございます 大会長 岡本富治



ふるさとに人口と活力を取り戻そう

まず事前防災、さらに事前復興対策
防災減災予算総額の拡充です



子どもと子育てを
大切にしたい

汗と涙も
心豊かになら
確かな未来を
かたはら



- 少子化対策緊急強化基金
(H30年9月補正後残高 1.5億円)を活用した
子育て支援のさらなる充実等々
- 東京オリンピック・パラリンピック徳島未来創造基金
(H30年9月補正後残高 2.4億円)を活用した
あわ文化創造・競技力向上・スポーツの振興

鳥獣被害対策と地域資源の利用の推進 商工小規模事業の活性化と地域雇用の安定

徳島県議会農業振興議員連盟会長
徳島県議会四国横断自動車道・阿南安芸自動車道建設促進議員連盟会長
徳島県議会林業木材業振興議員連盟幹事長
徳島県議会水産振興議員連盟副会長
徳島県議会芸術文化振興議員連盟副会長
徳島県議会議員野球部監督

快打洗心
野球も県政もタイリーに

寒さ耐え 歩けばひらく 人ごころ ほのぼの伝うさわやかな春

基金活用・細心大胆・地方創生実感!!

- 命を守るための大規模災害対策基金
(H30年9月補正後残高 37.8億円)を活用した
防災・減災対策を強力に推進
- 二十一世紀創造基金
(H30年9月補正後残高 99.9億円)を活用した
安全安心対策・社会基盤整備に積極投資
- 農林水産業未来創造基金
(H30年9月補正後残高 6.6億円)を活用した
農業・林業・水産業の再生・潜在力の発揮
- 交通網整備利用促進基金
(H30年9月補正後残高 38億円)を活用した
高速道路・クルーズ客船・地方バス路線対策
- 地域医療介護総合確保基金
(H30年9月補正後残高 25.2億円)を活用した
福祉介護人材確保・障がい者対策等々
- 災害医療推進基金
(H30年9月補正後残高 7.3億円)を活用した
戦略的災害医療・災害派遣医療チーム体制等々



平成30年9月19日本会議岡本富治代表質問に立つ

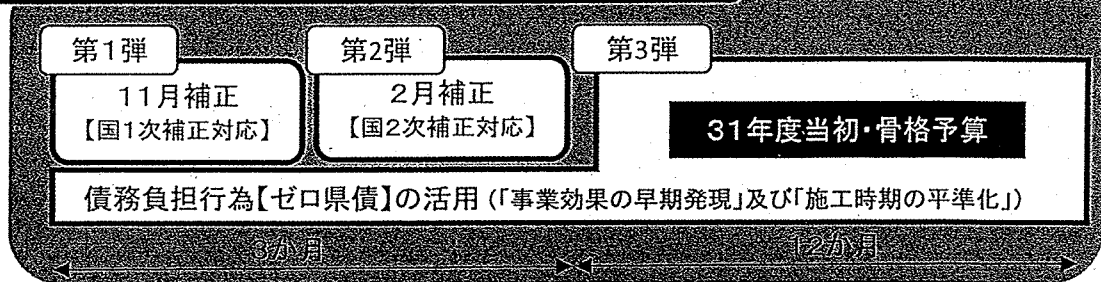
岡本富治質問 今までのような編成方針ではいけない。県民の安全安心を第一とすべきであります。事業の繰越し等執行率により変わる事になるが、さらに一步先取りをして11月議会に先に盛り込んでから骨格をどうするかとか。それはまさに予算編成のテクニックが問われることになる。私は、11月議会先取り予算がいいと思う。知事の見解を問う。

知事答弁 来年度の骨格予算におきましては、県土強靱化や事前復興に関する事業について、質及び量の両面から、より一層、積極的な計上を進めて参ります。このように、議員ご提案の趣旨を踏まえ、県民の安全・安心な暮らしを何としても実現し、高めていくとの信念のもと、県政史上初となる、今後の補正予算と来年度骨格予算とを一体的に捉える切れ目ない予算編成に創意工夫を凝らして参ります。

平成30年度11月補正予算

国の補正予算に呼応した「被災施設の復旧」をはじめ、
県民の命と暮らしを守る「15か月型・県土強靱化予算」の「第1弾」

15か月型・県土強靱化予算 (11月議会+2月議会) イメージ図



予算額 35 億円 (うち債務負担行為16億円)

安全・安心対策の推進 約28億円

■ 相次ぐ災害に即応した公共施設の復旧

・治山事業	963,500
・林野地すべり防止事業	179,400
・漁港施設災害復旧事業 (債務負担行為)	[600,000]

■ あらゆる自然災害を迎え撃つための県土強靱化の推進

・「ゼロ県債」を活用した県土強靱化の推進 (債務負担行為)	[1,000,000]
うち 緊急地方道路整備事業	(475,000)
うち 床上浸水対策特別緊急事業	(250,000)
うち 地すべり対策事業	(85,000)

■ 地域医療・介護の充実

・地域医療介護総合確保基金積立金	107,000
------------------	---------

大胆素敵とくしまの実現 約0.2億円

■ 文化財の適正な保存管理による魅力発信	(単位：千円)
・県指定有形文化財「奥村家住宅」保存修理事業	13,700
■ 行政手法の進化	
・データベースに基づく政策立案 (EBPM) 推進事業	6,700

経済・雇用対策の推進 約16億円

■ 徳島の強みを活かした成長産業の強化	(単位：千円)
・地方大学・地域産業創生事業	624,000